

# 生徒と教師と家庭・地域が育つ中学校へ

## 福井市至民中学校

### 1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実践

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	14回
地域・保護者への学校公開	20回

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	111人
授業ボランティア(含:低ボラ)	8人
登下校支援ボランティア	2人
その他(学校案内・環境整備作業)	(登録人数)13人

(3) 特色ある活動

テーマ「地域と連携した教育活動」
------------------

具体的活動内容

- ①地域の活動に参加 ボランティアラリー (全7回)  
地域の行事を中学生も盛り立てるボランティアラリー。社南地区納涼祭会場準備、小中のPTA奉仕作業、社南地区三世代クリーン作戦、地区体育祭の会場準備後始末、公民館まつりのお手伝いなどに協力しスタンプを押してもらう。
  - ②マナー講座(10/11開催)や「地域の担い手づくりプログラム」(10/26開催)  
職場体験を前にした1・2年生を対象に、社員研修コンサルティングの専門講師から大人の世界のマナーやルールを学ぶ講座を、福井青年会議所より30名の講師を招き、実社会で働くための心構えや態度、知識や技能などを教えていただく講座を開催。
  - ③井戸端サロンの開催 (11/18開催)  
物質的な豊かさと便利さにおいて世界での有数の国となった日本だが、心の豊かさを求める声や健全な家庭や社会を考え直す気運が高まっている中、『次の世代に伝える心』と題して講演会を開催。保護者や地域の方々と教職員が参加。
- 
- ④「ギャラリーしみん」の開催  
地域文化の発信・交流・発掘をねらう「ギャラリーしみん」。校舎内での単なる展示発表だけでなく、生徒との交流の機会を設けている。
- 
- 第1回「いぶき野絵手紙教室作品展」(6/13~22)
  - 第2回至民アカデミー倶楽部定例文化祭(9/3~16)
  - 第3回フランス在住の地域出身画家「五百崎智子」作品展(10/19~11/1)
  - 第4回「サポート至民写真展」(10/25~11/1)
  - 第5回「仁愛女子校書道部作品展」(2/1~16)
- ⑤「地域公開講座」の開催(6/11、3/17の年2回)  
地域に開かれた学校、地域の文化拠点としての学校のあり方を模索し、生徒と保護者や地域の方が一緒に学ぶ講座を開催。1回に200名ほどの地域の方々が参加し、地域の大工さんとのTTによる授業やなど10学級での70分授業を体験。
- 
- 「めざせ! かなな名人」
- ⑥「地域交流タイム」の開催(9/4)  
文化祭当日に、地域の方を講師に、全生徒が、アレンジフラワー、茶道教室、勾玉づくり、和太鼓、パッチワーク、着付け教室、紙すき、チアダンス、スコープ三味線など16講座で、80名を超える地域の方々から体験を中心に学び、交流を深めた。講座の中には、当日朝申込みを受け付け地域の方々の参加も得られた。
- 
- 「スコープ三味線」

### 2 成果と課題

「充実・深化する至民中教育」を合い言葉に、3つの柱の異学年型クラスター制、教科センター方式、地域連携のこれまでの実践を振り返りつつ、地域・学校協議会でいただく貴重な意見も生かしながら、新たな学校文化の創造に取り組んできた。特に地域の学校として、中学生が地域に出て行く活動(職場体験、ボランティアラリー等)、中学校が地域の文化の拠点となるべく地域の人を招く活動(地域交流タイム、ギャラリーしみん、地域公開講座等)、各種通信による広報活動のそれぞれが昨年度より更に充実してきた。

今後、更に地域と連携した教育活動を展開するために、これまでの活動の充実を図るとともにアイデアを出し合い新たな取り組みにも挑戦していきたいと考えている。充実を図り、ますます地域連携を深めていきたい。